

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに川崎医科大学附属病院にご入院された患者さんへ

研究課題名

National Clinical Database を基盤とした DPC・レセプトなど医事データの収集と研究利用

世界でも例のないスピードで少子高齢化が進行する日本においては、今後限られた資源を効果的に用いて、医療提供体制を改善することが必要となります。そのためには、地域や個々の施設における臨床成績の評価やベンチマーキングを通じた質の改善、実臨床データを用いたアウトカム分析や費用対効果分析などが基盤となります。情報技術の進歩を背景に多くのデータベースが構築されてはいますが、現時点で全国規模の高い悉皆性で、詳細臨床情報と医療資源情報を併せ持つデータベースは存在しません。National Clinical Database (以下、NCD) は専門医制度との連携の下、手術症例データベースとして発足し、現在 4,500 以上の施設より、年 100 万症例以上の匿名化情報が登録されています。

本研究の目的は、NCD を基盤に、参加病院から DPC・レセプトなど入院保険請求情報を収集しデータベースを構築することによって、NCD に登録される臨床詳細情報に医療資源利用情報を加えて分析できる環境を構築、日本の医療の質の評価、医療資源配置最適化へつながるエビデンスの創出基盤をつくりあげることです。

この研究では、全国の NCD 参加施設において、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に入院された患者さんの診療情報をウェブブラウザを用いて NCD サーバへアップロードし解析が行われる予定です。当院では該当する患者さんが 1 年間で延べ約 15,000 名おられ、その方の平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日の診療データを提出する予定にしています。提出されるデータは、行われた検査や治療の内容、お薬の種類などで、患者さんのカルテ番号・名前・イニシャル・住所など、個人情報が出されることは決してありません。研究期間は、倫理委員会承認日から平成 33 年 12 月 31 日まで、です。

本研究は研究資金を要しません。また、本研究課題を実施する研究者が所属する部門は奨学寄附金の受け入れがありませんし、結果に影響を及ぼすような研究資金の受け入れはないため、深刻な利益相反の状態にはなっていません。

この研究に参加を希望されない方、データの提出を希望されない方、相談等のある方は、川崎医科大学附属病院ホームページから医事課 (ijika@med.kawasaki-m.ac.jp) または医療資料部 (iryoshiryobu@hp.kawasaki-m.ac.jp) へ電子メール、もしくはお電話 (附属病院 086-462-1111 内線 22580 または 24571) にて連絡をお願い致します。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。なお、この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得ておりますことを申し添えます。

◎研究組織 (研究責任者・研究分担者と担当事項)

研究事務局

一般社団法人 National Clinical Database 事務局

研究責任者

東京大学 医療品質評価学寄付講座

特任教授 宮田 裕章

川崎医科大学附属病院

研究責任者 医事課 課長 上地 淳

研究分担者 医療資料部 係長 武内裕美

情報管理者 医療資料部 副主任 岸野由紀子

川崎医科大学総合医療センター

研究分担者 医療資料部 係長 秋山桂子

情報管理者 医療資料部 事務職員 山田裕子

研究参加予定施設

岡山大学病院、岡山医療センター、岡山済生会総合病院、岡山赤十字病院、倉敷中央病院、津山中央病院など、全国都道府県のNCD参加施設 約5,000施設

(参照ホームページ <http://www.ncd.or.jp/list/>)

研究責任者

川崎医科大学附属病院 医事課

課長 上地 淳